



医療安全通信 第82号

【薬局部 医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

ジェノゲスト錠の用法について

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の「共有すべき事例」2020年 No. 2には『ジェノゲスト錠の用法の説明間違い』の事例が掲載されています。

http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/sharing_case_2020_02.pdf

- ◆ **事例の内容** 【原文のまま抜粋】
ジェノゲスト錠1mg「モチダ」2錠分228日分が初めて患者に処方された。薬剤を交付した薬剤師が、当日の夕食後から服用を開始するよう説明した際、処方医が患者に月経周期2日目から服用するよう指導していたことがわかった。先ほどの説明を訂正して、月経周期2日目から服用開始するよう説明した。
- ◆ **背景・要因**
当薬局に初めて来た患者であった。処方箋はFAXで受け付けたため、添付文書を確認する時間は十分にあったが、怠った。
- ◆ **薬局が考えた改善策**
処方された薬剤について理解が不十分である場合は、添付文書を必ず確認してから薬剤を鑑査・交付する。
- ◆ **その他の情報**
ジェノゲスト錠1mg「モチダ」の添付文書（一部抜粋）
 6. 用法及び用量
通常、成人にはジェノゲストとして1日2mgを2回に分け、月経周期2～5日目より経口投与する。
 7. 用法及び用量に関連する注意
治療に際しては妊娠していないことを確認し、必ず月経周期2～5日目より投与を開始すること。また、治療期間中は非ホルモン性の避妊をさせること。
- ◆ **事例のポイント**
 - 処方されたその日に服用を開始する薬剤ばかりではなく、服用を開始するタイミングが設定された薬剤があることを把握しておく必要がある。
 - ジェノゲスト錠1mgなどの子宮内膜症治療薬は、月経周期に合わせて投与を開始する薬剤であることを理解し、服薬指導を行うことが重要である。
 - 薬剤師は、薬剤に関する情報を十分理解したうえで調剤を行う必要がある。薬剤の添付文書を常に確認できる環境を整え、理解が不十分であればすぐに確認する姿勢が重要である。

ジェノゲスト錠1mg「モチダ」は、ディナゲスト錠1mg/OD錠1mgの後発医薬品で、有効成分であるジェノゲストは、選択的プロゲステロン受容体アゴニスト活性に基づいて卵巣機能抑制作用および子宮内膜細胞の増殖抑制作用を示す『子宮内膜症』治療剤です。（注：2020年3月現在、先発品のみ『子宮腺筋症に伴う疼痛の改善』も適応あり）ジェノゲストを服用すると月経はなくなり、月経にともなう辛い痛みなどの自覚症状が抑えられます。また、月経を止めるだけでなく、子宮内膜症の病巣に直接作用して、病巣の増殖を抑制する作用を持っているため、月経時以外の痛み（下腹部痛・腰痛・性交痛・排便痛など）も抑えます。

ジェノゲストは妊婦または妊娠している可能性のある婦人への投与は禁忌であることから、**投与開始にあたっては、妊娠していないことを確認**することが必要であり、そのために「**月経周期2～5日目より経口投与**する」こととなっています。また、経口避妊薬等のホルモン性の避妊薬では、ジェノゲストの効果が減弱する可能性があることから、**非ホルモン性の避妊**が必要です。

服用中は通常の月経周期よりも子宮内膜が薄くて剥がれやすい状態になっているため、**予期しないときに不正出血が起こりやすく、重度の貧血に至る**ことがあります。不正出血について、患者にはあらかじめ十分に説明し、**出血量が多く持続日数が長い場合や一度に大量の出血が認められた場合には、医師へ相談**するよう指導しましょう。

＜引用資料＞

- ・ディナゲスト錠1mg/OD錠1mg 医薬品インタビューフォーム（第11版）、添付文書（第2版）
- ・ジェノゲスト錠1mg/OD錠1mg「モチダ」 医薬品インタビューフォーム（第1版）
- ・持田製薬株式会社 ホームページ 2020年3月30日アクセス

